

Press Release

報道関係者各位

平成 20 年 12 月 11 日

株式会社ユビテック

(大証 HC 6662)

ユビテック、グリーン東大工学部プロジェクト国際会議にて、BX-Officeを紹介

株式会社ユビテック(東京都品川区、代表取締役社長:荻野 司、以下「ユビテック」)は、グリーン東大工学部プロジェクトの国際会議にて、プロジェクト活動内容の一つである実験事例「BX-Office*1」のシステムをご紹介いたしました。

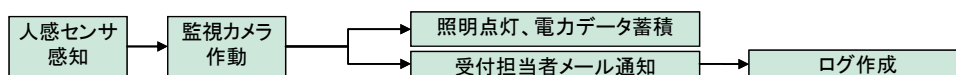
本国際会議は、グリーン東大工学部プロジェクトの活動を国際的に広く展開するべく開催されたもので、中華電信股份有限公司(台湾最大の通信事業者)による日本のグリーンIT*2視察と併せて行われました。

グリーン東大工学部プロジェクトとは、東京大学本郷キャンパスの工学部新2号館を対象として、ITによる省エネとITシステム自身の稼働環境による省エネの両立を実証するために設立したプロジェクトです。ユビテックは、プロジェクト発足時より参画メンバーとして活動しており、当社の社員がプロジェクトのワーキンググループ「ネットワーク見える化」のリーダーを務めています。「見える化」とは今まで把握できていなかった事象や効果をグラフや数値などで視覚的に把握できるようにすることです。当社では、BX-Officeを活用し複数のシステムを連携することで生まれる新たな情報を「見える化」する実験を担当しており、今回、グリーン東大工学部プロジェクトの活動内容の一つとして、BX-Officeのシステムを当社のショールームにてご紹介しました。

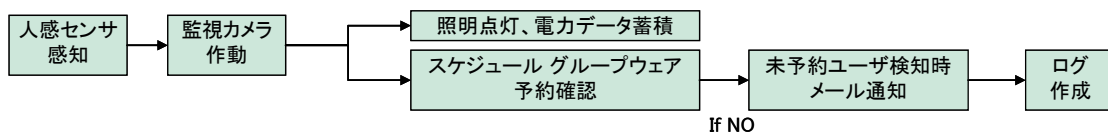
ユビテックのショールームでは、「人感センサ」、「監視カメラ」、「照明制御」、「グループウェア(スケジュール管理機能)」といった個々のシステムを当社の「BX-Office」によって連携させたソリューションをご紹介しています。ショールームで実現している仕組み及び「見える化」できる情報の例は以下の通りです。

【ショールームで実現している仕組み】

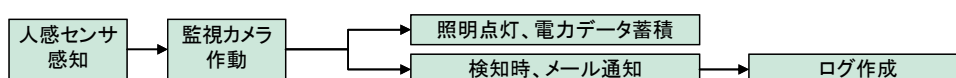
受付:



会議室:



夜間: (セキュリティモード)



【「見える化」できる情報例】

- ・ 人感センサと照明設備を連携させ、人の流れと電力量の相関関係を確認
- ・ 施設稼働状況や使用電力量、CO2 使用量を日別、時間別推移のグラフ確認
- ・ 人感センサと監視カメラを連携させ、早朝や深夜、休日などの社員がいない時間帯の出入り状況の把握及び実際の映像確認 など

視察団の皆様には、連携させることで生まれる新たな情報の価値をご理解頂き、ご好評頂きました。ユビテックでは引き続き、グリーン東大工学部プロジェクトにおいて IT システムによる省エネ効果を検証しながら、様々な場所や場面に対して環境に配慮した IT インフラ、ソリューションの提供を図ってまいります。

*1:BX-Office とは、当社が開発したインターネットと設備制御の統合ゲートウェイです。BX-Office の詳細については、以下 URL をご覧下さい。

BX-Office に関するプレスリリース:<http://www.ubiteq.co.jp/news/pdf/20081110-bx-office.pdf>

BX-Office 製品紹介ページ:<http://www.ubiteq.co.jp/products/bxoffice.html>

*2:グリーン IT とは、地球環境に配慮した IT 製品や IT 基盤もしくは、環境保護や資源の有効活用につながる IT 利用のことをいいます。2006 年頃より、米国でさかんに使われるようになり、日本では、2007 年 12 月に経済産業大臣主催で「グリーン IT イニシアティブ会議」(第 1 回)が開催され、グリーン IT における産学官の連携の場として「グリーン IT 推進協議会」の設立が表明されています。

【集合写真】



以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課
電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561